

幕末の歴史から見える「佐賀の底力」 5

－聴いて、話して、考える佐賀の歴史遺産とその未来－

幕末～明治期の日本の飛躍的な近代化をテーマに今年7月に世界遺産登録された「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産の「石炭産業」のジャンルにスポットをあて学習します。この機会をとおして、佐賀の歴史遺産の今と未来について考えます。

■ 日 時 平成27年10月～平成28年2月 土曜日 10時～12時 (2時間×5回)

■ 場 所 佐賀大学(本庄キャンパス) 教養教育1号館145番教室 ほか

■ 対 象 一般市民

■ 定 員 先着100名

■ 受 講 料 無料

■ 申込方法 氏名、住所、連絡先(電話番号、電子メールなど)をご連絡ください。

※駐車場に限りがあるため、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

回	月 日	講 義 内 容
1	10月17日	<p>「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」</p> <p>講 師： 鹿児島県世界文化遺産課 主査 桑波田 武志 氏</p> <p>場 所： 佐賀大学教養教育1号館145番教室</p> <p>内 容： 世界遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」について、解説します。</p>
2	11月14日	<p>「鍋島直正公の国防意識」</p> <p>講 師： 公益財団法人鍋島報効会 徴古館 主任学芸員 富田 紘次 氏</p> <p>場 所： 佐賀大学教養教育1号館145番教室</p> <p>内 容： 佐賀藩が担っていた長崎警備を中心として、どのような意識で警備にあたったのか、何のために反射炉での鑄造や三重津での蒸気船運用を行ったのかなど、その背景について解説します。</p>
3	12月19日	<p>「日本の産業革命と『高島炭鉱』の役割」</p> <p>講 師： 長崎市世界遺産推進室 室長 田中 洋一 氏</p> <p>場 所： アイスクエアビル5階会議室(佐賀市駅前中央一丁目8-32)</p> <p>内 容： 「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である長崎市の「高島炭鉱」について解説します。</p>
4	1月16日	<p>「三池炭鉱と関連資産について」</p> <p>講 師： 福岡県世界遺産登録推進室 係長 森井 啓次 氏</p> <p>場 所： アイスクエアビル5階会議室(佐賀市駅前中央一丁目8-32)</p> <p>内 容： 「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である福岡県の「三池炭鉱」とその関連資産について解説します。</p>
5	2月6日	<p>「国史跡 三重津海軍所跡」</p> <p>講 師： 佐賀市文化振興課世界遺産調査室 室長 前田 達男 氏</p> <p>場 所： 佐賀常民記念館(佐賀市川副町早津江津446-1)</p> <p>内 容： 「三重津海軍所跡」の最新調査結果について解りやすく解説します。</p>

■ 申し込み・問い合わせ

佐賀市企画調整部世界遺産登録推進室

電 話：0952-40-7105 FAX：0952-29-2095

メー ル：sekaiisan@city.saga.lg.jp